

第1回 タコだ！アメフラシだ！ウミウシだ！ ～身近な海に広がるたくさんの生きもの～

- 日時 2018年5月12日(土)10時～12時30分
- 場所 アジュール舞子<垂水区>
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 神戸市立須磨海浜水族園
- 協力 神戸市立須磨海浜水族園ボランティア
神戸親和女子大学ユネスコクラブ

◆当日は晴天のもと、たくさんの方に参加していただきました！海辺の生きものについて説明を聞いた後、家族ごとに分かれて、いざ海辺で採集開始！！砂を掘り起こしたり、岩をずらしてみたり、色々なところを探しました！採集した生きものはタッチプールに移して、講師の解説を聞きながら、観察したり、触ったりしました。普段は接する機会のない生きものとのふれあいを、参加された皆さんは楽しんでいました。

また、講座開始前は砂浜のごみ拾いを実施。自然をきれいに保つことが、生きものとの共生につながることを、考える場にもなりました。



第2回 カブトムシがいるかも？！ ～都会にすむ、たくさんの虫たちをさがしてみよう～

- 日時 2018年7月14日(土)10時～12時30分
- 場所 西神中央公園<西区>
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 山本 勝也 氏(日本甲虫学会員)
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ

◆西区の住宅街の中にありながら、緑豊かな自然と多様な生きものに恵まれている西神中央公園で、生きもの観察会を開催しました！

燦々と太陽が降り注ぐ中、子ども達は草むらや森の中を駆け回り、夢中になって生きものとのふれあいを楽しみました。

最後は採集したカブトムシや蝶、バッタたちを持ち寄り、みんなで観察をしながら、講師の解説を聞きました。生きものを大切にする心を育むとともに、環境保全の大切さを学習しました。



第3回 住吉川のウナギはフィリピンから来るんやて！ ～汽水域に暮らす、さまざまな生きもの～

- 日時 2018年8月25日(土)10時～12時30分
- 場所 住吉川汽水域(河口)＜東灘区＞
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 兵庫・水辺ネットワーク
- 協力 住吉川清流の会
神戸親和女子大学ユネスコクラブ

◆台風の影響で前日まで川の水位が増していましたが、当日は何とか天気持ち直し、無事開催することができました。昨年は3cmほどのウナギの稚魚が発見されましたが、今年はなんと！20cmほどのウナギが発見され、参加されたみなさんは大興奮！

住吉川は、「住吉川清流の会」のみなさんが、普段から河川の美化、環境保全に取り組んでおられるため、常に美しい状態を保っています。この日も参加した子どもたちは、澄んだ水の中で思い切り体を動かして生きものの採取をすることができました。普段なかなか見ることのできないクロベンケイガニやスズキの稚魚なども発見することができ、汽水域ならではの生きもの観察会となりました。



第4回 温暖化も原因？異常気象！さて、そのときどうする？ ～いざ！というときに身を守るエコな知恵～

- 日時 2018年9月15日(土)10時～15時
- 場所 みなとのもり公園＜中央区＞
- 企画運営 アースパルKOBE
- 講師 神戸学院大学現代社会学部社会防災学科
一般社団法人おいしい防災塾、アースパルKOBE
- 協力 神戸学院大学、神戸親和女子大学ユネスコクラブ

◆当初予定していた9月9日は、数日前から雨が降り続き当日も雨天となったため延期。改めて9月15日に開催しました。この日も曇天で時々小雨が降りましたが、最後までプログラムを実施することができました。

ジオラマを用いて大雨による川の氾濫をシミュレーションするコーナーでは、親子で真剣に環境と防災について考える姿が見られました。

ポリ袋を使って調理するパッククッキングでは、災害時だけでなく、普段の生活にも役立つエコな調理法を学びました。盛りだくさんの内容でしたが、今年度最後の講座として、みなさんに楽しみながらたくさんのお話を学んでいただくことができました。

